

---

# 検討会の設置目的及び検討スケジュール

---

# 検討の背景 「未来の東京」戦略ビジョン（令和元年12月）における位置づけ

- 都は、2040年代に目指す東京の姿である20の「ビジョン」と、その実現のために2030年に向けて取り組むべき20の「戦略」を示した「『未来の東京』戦略ビジョン」を策定（令和元年12月）
- 複数の「戦略」において、地域公共交通の充実を位置付け

## 戦略9 都市の機能をさらに高める戦略

→公共交通ネットワークの更なる充実

○地域の特性に応じた総合的・効率的な地域公共交通ネットワークの形成を促進するとともに、最先端技術を活用し、誰もが移動しやすい利便性の高い都市を実現

→地域特性に応じたスマートなまちづくりの展開

○人が快適に暮らせるコンパクトでスマートな都市を実現するため、土地利用を組み合わせた地域のまちづくりを推進するとともに、日常生活を支える交通モードを充実

- 鉄道ネットワークを最大限生かすとともに、バスやタクシー、デマンド交通、自転車などの交通モードと最先端技術の組合せ等を促進し、駅等を中心とした誰もが移動しやすい交通環境の充実を図る
- デマンド交通の実証実験を実施する区市町村を支援する等、導入を促進

※「戦略4 長寿(Choju)社会実現戦略」、 「戦略17 多摩・島しょ振興戦略」においても関連施策として掲載



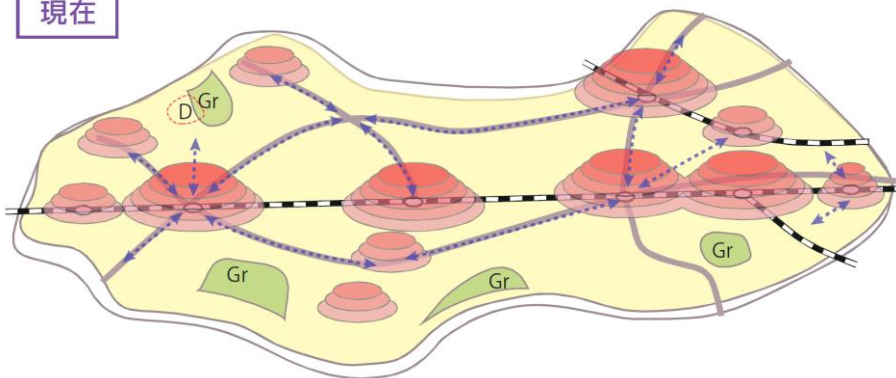
<移動困難者を含む誰もが移動しやすい利便性の高い都市>



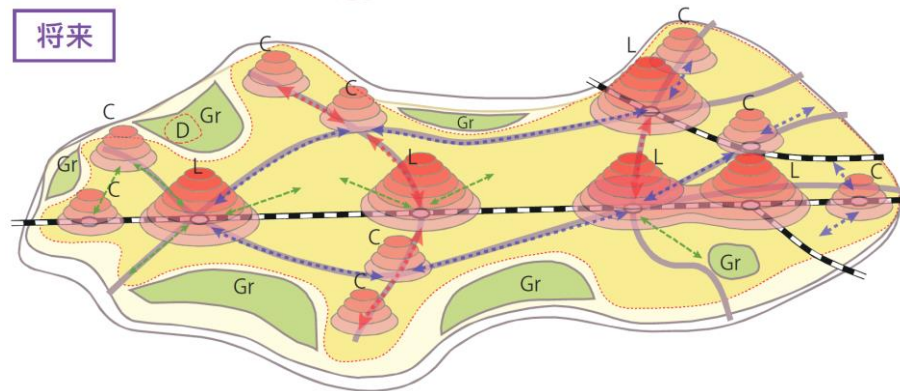
# 検討の背景 都市づくりのグランドデザイン（平成29年9月）における位置づけ

- 都は、2040年代を目標時期として、目指すべき東京の都市の姿とその実現に向けた都市づくりの基本的な方針等を示した「都市づくりのグランドデザイン」を策定（平成29年9月）
- 身近な地域で誰もが活動しやすく快適に暮らせる「**集約型の地域構造**」への再編を目指すとともに、地域の拠点や生活の中心地へのアクセスとなる**フィーダー交通の充実**をパイロットプロジェクトの1つに位置付け

現在



将来



## 凡例

- 駅
- +—+— 鉄道
- 幹線道路
- 居住を誘導する区域

- フィーダー交通
- ←-.-.-.-.-> BRT※
- ←- - - - -> 路線バス
- ←-.-.-.-.-> デマンド交通※

- L : 主要な駅周辺等 (地域の拠点)
- C : その他の駅周辺、団地など (生活の中心地)
- Gr : 緑地、農地、水辺など
- D : 災害のおそれのある区域

出典：都市づくりのグランドデザイン（平成29年9月/東京都）に東京都加筆



# 検討会の設置目的

## 《検討の目的》

- 「『未来の東京』戦略ビジョン」や「都市づくりのグランドデザイン」で掲げた目指すべき都市像を踏まえ、**地域の特性に即した地域公共交通ネットワークの形成を促進し、誰もが移動しやすい利便性の高い都市の実現に向けた必要な検討**を行う
- 検討の成果については「**東京都における地域公共交通に関する基本方針（仮称）**」として取りまとめ、取組の促進に寄与

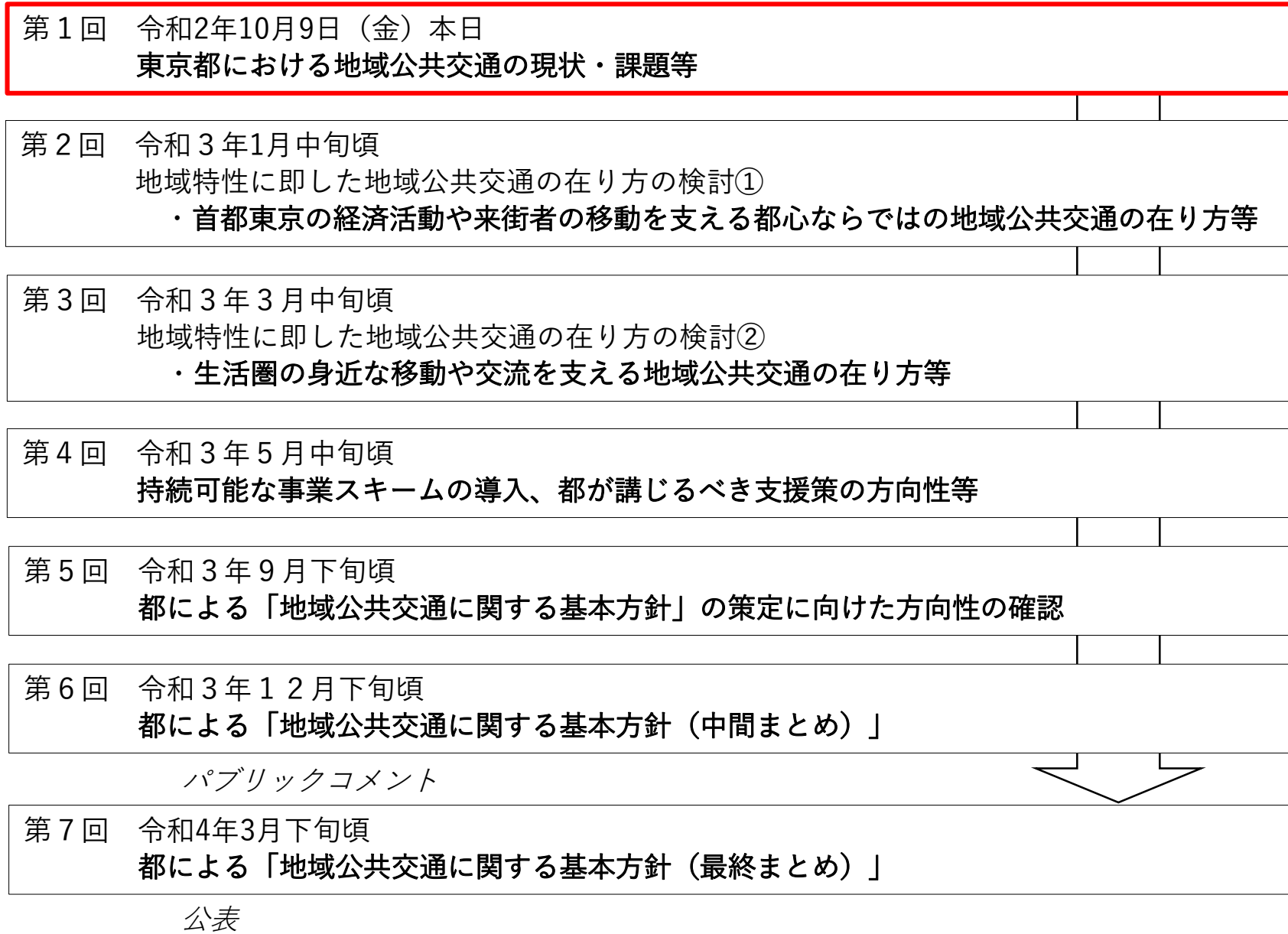
## 《検討項目》

- 東京都における地域公共交通の現状・課題の把握
- 地域特性に即した地域公共交通の目指すべき姿、在り方の検討
- 都が講ずるべき支援策の方向性 等

## 《検討の目標時期》

- **2040年代**（「未来の東京」戦略ビジョンや都市づくりのグランドデザインと整合）

# 検討のスケジュール（案）



令和2年度

令和3年度